

予算

政策予算を盛り込んだ 本格予算 決定

6月補正予算の概要

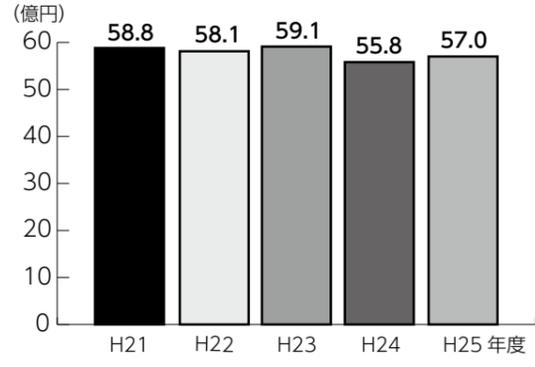
新規事業や政策的経費を盛り込んだ平成25年6月補正予算が承認され、福井市長就任後初の本格予算が成立しました。
一般会計予算では、13億3,100万円を追加し、当初予算と合わせて241億2,600万円となりました。



ポイント1 市税収入はほぼ同額で推移

今年度の市税収入は57億円を見込んでおり、前年度の当初予算と比べて1億2千万円、2.2%の増を見込んでいます。
歳入総額に占める市税収入の割合は23.6%であり、地方交付税などの依存財源に頼っているのが現状です。

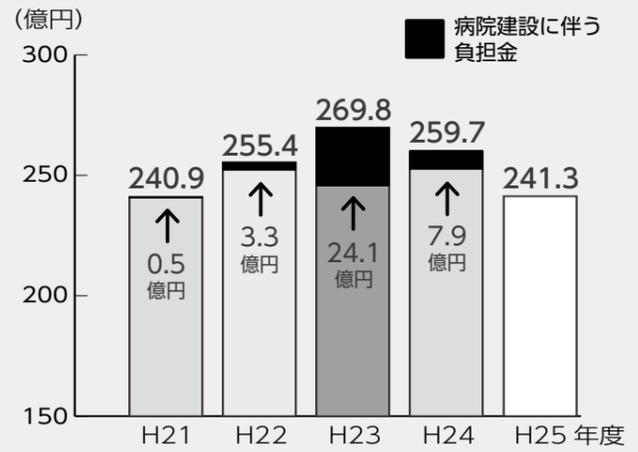
●市税当初予算額の推移



※平成23年度までは決算額、24年度は当初予算額、25年度は6月補正後予算額です。

当初予算額の推移

前年度当初予算額に対し、今年度は18億4千万円の減となっていますが、病院建設事業等の特殊要因を除きますと、ほぼ前年当初並みの予算を確保しています。



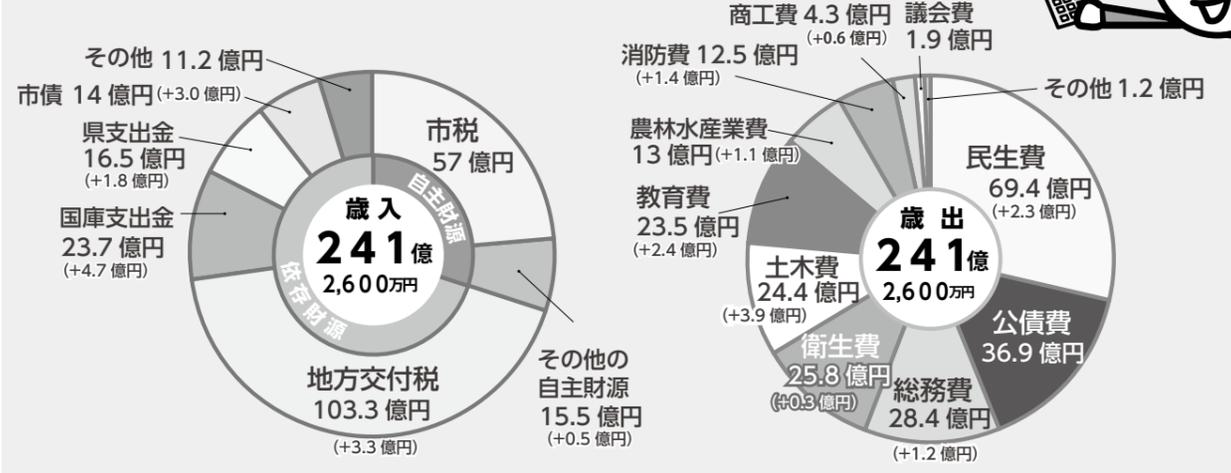
※平成21年度と25年度は、当初予算が骨格予算であるため、6月補正後の額となっています。

ポイント2 地方交付税は人件費分を減額

地方交付税(普通交付税)は、前年度当初予算と比べて、3億7千万円減の95億3千万円です。普通交付税の振替措置である臨時財政対策債を加えた実質的な普通交付税は、106億3千万円と見込んでいます。
国では、国家公務員と同様の給与削減を実施することを前提に、普通交付税を減額するとしています。一方で、新たな緊急課題への対応として、新規に防災・減災事業や地域の元気づくり事業が予定されているものの、普通交付税に対する算出根拠が明確でないことから、地方公務員給与の削減による予想影響額1億9千万円を減額分として見込んでいます。

※臨時財政対策債・・・地方一般財源の不足を補うために特例として発行される地方債。必要に応じて地方自治体が発行し、償還費用は全額国が負担します。

一般会計予算の概要



- 市税…市が徴収するお金
- 地方交付税…全国どの市町村でも一定の行政サービスを提供できるよう国が地方公共団体に交付するお金
- 国庫支出金…国から支出される補助金等
- 県支出金…県から支出される補助金等
- 市債…市の借金
- 自主財源…市が自ら徴収できるお金(72億円)
- 依存財源…国や県などに依存するお金(169億円)
- 民生費…福祉や医療のための経費
- 公債費…借金返済のための経費
- 総務費…行政の運営のための経費
- 衛生費…健康や環境のための経費
- 教育費…学校や生涯学習のための経費
- 土木費…道路、河川、市営住宅などの経費
- 農林水産業費…農林水産業のための経費
- 消防費…安全・安心な暮らしのための経費
- 商工費…商工や観光のための経費
- 議会費…議会の運営のための経費

一般会計 市民一人あたりの予算 **461,362円** 平成25年6月末現在の人口(52,293人)で計算

○高齢者や児童の福祉などに	132,708円	○道路・河川などの整備に	46,627円
○借金返済に	70,569円	○産業振興・観光などに	32,954円
○行政運営費に	54,375円	○消防・救急活動などに	23,884円
○ごみ処理や病気の予防に	49,255円	○議会の運営に	3,679円
○学校・図書館・公民館などに	44,948円	○その他	2,363円

福祉や教育、産業振興など、市の基本的な会計
一般会計 241億2,600万円
 (対前年度当初予算比 ▲18億4,400万円)

国民健康保険、介護保険など一般会計と区別が必要な会計
特別会計 141億6,030万円
 (対前年度当初予算比 +1億6,920万円)

料金収入で運営している事業の会計
企業会計 65億7,131万円
 (対前年度当初予算比 ▲20億8,362万円)